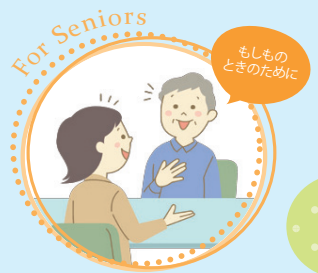
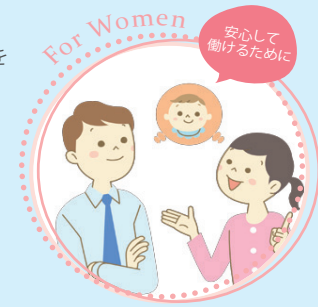


第一生命の地域貢献活動

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

全国4万1千名の生涯設計デザイナーを通じて、**地域の課題解決**に取り組んでいます。



MESSAGE



第一生命保険株式会社
代表取締役社長
隅野俊亮

地域の皆さまと共に持続可能な社会の実現を目指します。

第一生命は、1902年の創業以来、社会保障制度の一翼を担う生命保険会社として、その時代に応じた人々の幸せの実現や社会課題の解決に努めてまいりました。人生100年時代を迎え、一人ひとりの価値観が多様化する今、地域に根差す企業として、万一の際の「保障」を磨き続けるだけでなく、「資産形成・承継」、「健康・医療」、さらには人、人と地域や社会との新しい「つながり」を通じて、お客さまのQOL(Quality of Life)の向上 ※や地域の課題解決に取り組んでいます。日々、全国4万1千名の生涯設計デザイナーがお客さまにお会いし、確かな安心と充実した健康サポートをお届けするように、地域の皆さまとのつながりが、第一生命の強みです。こうした強みを活かして、地域の皆さま、お客さまに、真っ直ぐに向き合い、持続可能な社会の実現を目指していきたいと考えています。

※QOLの向上とは、その人の望む人生や、こう生きたいという生活・生き方を実現することを目指す。

保障	資産形成・承継	健康・医療	つながり・絆
保険普及等による生活の安定	人生100年時代の安心な老後	あらゆる人々の健康の増進	安心・安全で住みやすい地域づくり

数字で知る第一生命



第一生命は
全国に広がるネットワークを活用し
地域の課題解決
に取り組んでいます。

47都道府県にとどまらず、
全国の市区町村も含めた
自治体との連携を広げています。



地域のネットワークと連携して課題解決へ！

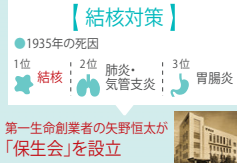


今までも、これからも、 地域のみなさまの健康づくりを応援しています。

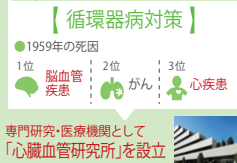
第一生命の健康増進に関する歩み

1902年	第一生命保険相互会社創業
1913年	創業者の矢野恒太、北里柴三郎を助けるべく日本結核予防協会理事就任
1935年	結核の予防・治療を目的として財団法人「保生会」設立
1939年	長期療養所「保生館」(後の保生園、現・新山手病院)開園
1950年	保健衛生の向上を目的として「保健文化賞」創設
1959年	財団法人「心臓血管研究所」設立
1988年	健康・医療をはじめ人生設計について調査する「ライフデザイン研究所」(現・第一生命経済研究所)設立
1998年	医療・介護分野の調査・研究を目的として「第一生命ウェルライフサポート」(現・第一生命経済研究所)設立
2000年	健康・医療・介護等のサービスを充実する目的で契約者向けポイントサービス「ドリームキングダム」開始
2008年	契約者向けポイントサービス「ウィズパートナー」を開始 全契約者に健康・介護等のサービスを展開
2012年	国立がん研究センターと連携開始(がん情報) 健康・医療・介護等の電話相談を契約者などから受け付ける「メディカルサポートサービス」開始
2013年	公益財団法人がん研究会と連携開始(がん情報)
2014年	国立循環器病研究センターと連携開始(循環器病情報)
2015年	国立長寿医療研究センターと連携開始(認知症その他の長寿医療情報) 市民マラソンへの協賛を柱とした「Run with You」プロジェクト開始
2016年	国立成育医療研究センターと連携開始(成育医療(小児・周産期)情報)
2017年	健康づくりをサポートする健康応援アプリ「健康第一」を公開 国立国際医療研究センターと連携開始(感染症および糖尿病・肝炎などの疾患情報)
2018年	国立精神・神経医療研究センターと連携開始(精神・神経・筋疾患などの疾患情報)

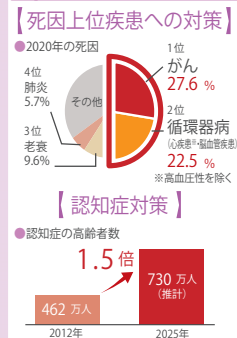
1 1935年当時の課題



2 1959年当時の課題



3 現在の課題



国内最高峰の専門医療機関と連携

1935年-1959年の死因
厚生労働省「我が国の人口動態」(2017)
2020年の死因：厚生労働省「人口動態統計」(2020)
認知症の高齢者数
厚生労働省「認知症施策推進総合戦略(平成29年7月5日)」

健康増進 For Health

地域に根ざした健康増進活動に取り組む

■ すべてのナショナルセンターと連携し、正しい情報の提供や予防啓発に取り組んでいます。



■ 健康応援アプリ「健康第一」を提供し、一人ひとりの健康づくりをサポートします。

健康診断結果で **今の健康状態** と **将来のリスク** がその場でわかる!

あなたの健康年齢と健康タイプは?

健康診断結果をスマホで読み取るだけ! さらに改善のためのアドバイスも。

同年齢・性別と比較したあなたの疾病リスクは?

健康状態や生活習慣からカンタンチェック

がん、脳卒中、脂質異常、心臓病、糖尿病

健康第一

アプリのダウンロードは「健康第一」検索

※1「健康年齢」は(株)MDCの登録商標です。
※2 各疾病のチェック対象年齢
がん: 45~74歳
脳卒中: 脳梗塞・心筋梗塞: 40~69歳
糖尿病: 30~83歳

■ 社会貢献活動に関する包括連携を結び、地域社会の活性化および発展に取り組んでいます。



環境取組 For the Earth

地球環境のサステナビリティの確保に向けて

● 地域に根差した環境取組

地球環境保護への取組みの一環として、各地での清掃活動をはじめ、食品ロス削減に向けたフードドライブ活動、資源の再利用に向けた古着リサイクル活動等に取り組んでいます。

● 機関投資家としての環境取組

秋田県の再生可能エネルギー導入の拡大と産業振興が期待できる洋上風力発電事業向けのプロジェクトファイナンス等に投資しています。

当社の責任投資活動の詳細は右記の2次元コードからご覧ください。

女性の活躍推進
For Women

地域の女性の活躍推進を応援する

働きやすい職場づくり



▲女性活躍推進セミナー(北海道)
地域企業の経営者や人事担当者をお招きし、「女性の活躍推進」や「ワーク・ライフ・バランス」をテーマにしたセミナーを開催しています。

保有不動産への保育所・学童保育誘致



▲鎌倉第一生命ビル「うちゅう保育園かまくら」
社会課題となっている待機児童対策の一環として、自社保有不動産に保育所や学童保育を誘致するなど、子育てしやすい社会の実現に貢献しています。

高齢者支援
For Seniors

地域に密着した活動を通じて高齢者をやさしく見守りたい

高齢者見守り活動



▲認知症サポーター養成講座(長崎県)
認知症を正しく理解してもらい、認知症の方や家族を温かく見守る認知症サポーターの養成をはじめ、高齢者が安心して暮らせる見守り活動を実施しています。

コグニサイズ



▲認知症予防体操「コグニ体操」
国立長寿医療研究センターが開発した「頭」と「身体」を同時に使うことで脳とからだの機能を効果的に向上させる運動プログラム「コグニサイズ」、音楽付き認知症予防体操「コグニ体操」のDVD提供等を通じて認知症予防啓発を行っています。

地域活性化
For Society

ニーズをとらえ地域の強みを引き出す

経営者向けのセミナー



▲経済セミナー(三重県)
第一生命経済研究所のエコノミストをはじめ、さまざまな分野の専門家によるセミナーを開催し、ビジネスや経営に役立つ情報をお届けしています。

地元サラ川



▲ジモサラ(地元サラ川)
長年継続してきた「柳コンクール」の知名度や運営のノウハウを活かし、地域課題への関心や共感をいただくことで、自治体の課題解決に向けたお手伝いをしています。

子ども・教育
For Kids

未来への一歩を心強くサポート

黄色いワッペン贈呈事業



毎年、全国の小学校の新入学一年生に交通事故被害保険付きの「黄色いワッペン」を贈呈しています。

金融保険・消費者教育



ライブイベントや消費者被害事例等について、さくろく形式で楽しみながら学習でき、お金の大切さや将来に備えることの重要性を体感いただける「ライフスキルゲーム」を全国の学校へ提供し、当社社員による出張授業も行っています。

安全・防災
For Safety

いざというときの安心のために

犯罪・災害に関する注意呼びかけ活動



▲振り込め詐欺被害防止活動(富山県)
自治体・警察と連携し、防犯や防災、交通安全に関する注意呼びかけ、不審な点を見つけた際の連絡などの活動を行っています。

子ども110番の家



▲子ども110番の家(大阪府)
いざというときに子どもたちが避難できるように、地域の営業拠点で「子ども110番の家」にする取組みが広がっています。

スポーツ振興
For Sports

健康サポート活動として

Run with You



市民マラソン大会への協賛やランニング教室の開催など、ランナーの皆さまを応援するプロジェクト「Run with You」を全国で展開しています。

第一生命全国小学生テニス選手権大会



「世界に通用する選手育成のためにはジュニアからの強化が重要である」という(公財)日本テニス協会の趣旨に賛同し、1983年の第1回大会より特別協賛するとともに、当社所有のコート(東京・仙川)を大会会場として提供しています。これまでに、錦織圭選手、奈良みづ選手ら、国際的に活躍する選手を多数輩出しています。

第一生命の社会貢献活動の歴史

結核対策のために「保生会」設立

明治末期の日本国内では結核が猛威を振るっていました。医師であり第一生命創業者でもある矢野恒太は結核亡国を憂い、北里柴三郎博士を助けながら、その予防と撲滅を期して歩きました。1913年には日本結核予防協会を設立、北里柴三郎が理事長、矢野恒太が理事に就任しました。また、小冊子「通俗結核予防の心得」(矢野恒太著・北里柴三郎監)を作って無料配布したり、講演や執筆にも奔走します。

1935年、生命を保つという意味から財団法人「保生会」を設立。この取り組みが第一生命の社会貢献活動の先駆けともなりました。1939年には長期療養所である「保生館(後の保生園)」を東京の東村山に開設するとともに、全施設を結核予防会に寄付しました。

なお「保生館(保生園)」は、現在「新山手病院」となっており、その裏山が「八国山」といわれることから「八国山病院」の愛称でも知られています。

●保生会



やの つねた
矢野 恒太
保生会に就職のち農商務省に勤務し、保険業法を起草する。また同省商工局保険課の初代課長に就任。1902年わが国最初の相互会社第一生命を創立。以後専務取締役、社長、会長を歴任した。また「日本国勢図会」を刊行し、統計知識を国民に普及することに尽力した。



きたさと しほさぶろう
北里 柴三郎
医学博士で伝染病研究所(現在の東京大学医学部)の初代所長。第1回ノーベル医学・生理学賞の候補者にも挙がり、私立北里研究所(現在の学校法人北里研究所)創業者兼初代所長並びに北里大学学祖となる。日本医師会設立者兼初代会長。写真提供:学校法人北里研究所

●保生館



●保生園



●新山手病院



写真提供:公益財団法人結核予防会

保健衛生向上のために「保健文化賞」創設

保健文化賞は、戦後の衛生環境が悪化していた中、わが国の保健衛生の向上に取り組む団体・個人に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設されました。厚生労働省などの後援を得て毎年実施しており、最も長い歴史を持つ第一生命主催の社会貢献事業です。

例年、受賞者は天皇皇后両陛下の拝謁をお受けいただいています。

●第71回保健文化賞贈呈式



第一生命の社会貢献活動

環境の保全



「都市の緑3表彰」(緑の環境プラン大賞、緑の都市賞、屋上・壁面緑化技術コンクール)への支援を通じ、「都市環境の保全や再生」「地域コミュニティの形成・生活の質の向上」に資する緑化の取組みに貢献しています。

セナ(文化芸術の振興)

文化や芸術を支える活動に取り組んでいます

●認定NPO法人 トリトンアーツ・ネットワーク



第一生命ホール(晴海)を拠点に公演事業と学校や福祉施設などに音楽をお届けするアウトリーチ活動を行っています。

●VOCA(ヴォーカ) 展・第一生命ギャラリー



40歳以下作家による現代美術展の協賛、当社ギャラリーでの受賞作品展示を通じ若手芸術家を支援しています。

●モーツァルトイベント開催



モーツァルトの住家修復支援以降、友好関係を築いた国際モーツァルト財団とのコレクション展・コンサートを行っています。

社員による地域・社会貢献活動

●全国各地の社員によるボランティア活動



左より、災害ボランティア活動、清掃活動、チャリティーウォークへの参加

●社内AED講習



定期的開催し、救命措置の大切さを伝えています。

引受保険会社
第一生命保険株式会社
〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1
電話 (03) 3216-1211 (大代表)
©ホームページ <https://www.dai-ichi-life.co.jp/>

お届けしたのは…